

# 教職員のための情報モラル・セキュリティ チェックシート

児童生徒のメディアリテラシーや情報モラルの育成・向上のためには、教職員が情報モラルや情報セキュリティに対するアンテナを高くし、自身のメディア利用の状況を見返すことも大切です。

以下の項目についてセルフチェックするとともに、職員会議や学年会議、校内研修等を通じて、また、校内で折にふれ、教職員全体で意識を高めましょう。

1	自分の携帯番号やメールアドレスを、学級通信などに記載して安易に配布していませんか。	
2	自分の携帯番号やメールアドレスを、児童生徒や卒業生に安易に教えていませんか。	
3	同僚や知り合いの携帯番号やメールアドレスを、許可なく第三者に教えていませんか。	
4	携帯電話やメールで、特定の児童生徒や保護者とやりとりをしていませんか。	
5	学級や部活動の児童生徒や保護者の中に、自分の携帯番号やメールアドレスを知っている人と知らない人がいませんか。	
6	メールを複数に一斉送信するとき、宛先にBcc機能を使わずに送信していませんか。	
7	児童生徒の出欠席の連絡が、自分の携帯電話にくることはありませんか。	
8	授業中に、携帯電話の着信音がなったり、電話に応答したりしていませんか。	
9	児童生徒や保護者のこと、職務に関わることを、当事者や学校の許可なく、インターネット上に投稿していませんか。	
10	児童生徒や同僚などの画像や動画を、保護者や当事者の許可なく、インターネット上に投稿していませんか。	
11	勤務時間中に、職務に関係のないウェブサイトの利用（閲覧や投稿等）をしていませんか。	
12	違法な出会い系サイトや、自分の各種IDを公開するサイトを利用していませんか。	
13	児童生徒の携帯電話を一時的に預かった際などに、保護者や本人の許可なく、その内部情報を無断で調べたりしていませんか。	
14	興味本位で、ウェブサイトやアプリ、オンラインゲーム等に関する情報交換を、児童生徒と頻繁にしていませんか。	
15	公用のコンピュータに、無断でソフトウェアをインストールしていませんか。	
16	職務に係る機密情報データで、パスワードの設定や暗号化をしていないものはありますか。	
17	他人による不正操作の防止対策（ロック機能の使用等）をしていない携帯電話やコンピュータを使用していませんか。	
18	携帯電話やコンピュータのユーザーIDやパスワードが、他人に簡単にわかるようになっていませんか。	
19	機密情報を含むデータを、パスワードの設定や暗号化をしないでメール送信していませんか。	
20	ウイルス対策ソフトをインストールしていないコンピュータや携帯電話を使用していませんか。	
21	OS（WindowsやiOS等）やウイルス対策ソフトなどのソフトウェア、各種アプリの定期的な更新をしていないコンピュータや携帯電話を使用していませんか。	
22	必要な手続きをしないまま、学校からデータをUSBメモリ等で持ち出していませんか。	
23	学校から持ち出したデータが、携帯電話や自宅のコンピュータに残っていませんか。	